

光合成建築が「OSAKA SALONE 2026」に招待出展 9 月 25 日・26 日、循環型社会の可能性を発信

摂南大学（学長：久保康之）理工学部の住環境デザイン学科 川上比奈子教授、生命科学科 松尾康光教授、瀬溝人生助教が開発する「光合成建築」が 9 月 25 日・26 日にマイドームおおさかで開催されるデザインイベント「OSAKA SALONE 2026」に招待出展します。

【本件のポイント】

- 光合成建築がデザインイベント「OSAKA SALONE 2026」に招待展示
- これからの建築、エネルギー、そして循環型社会の可能性を発信
- 国際家具見本市「ミラノサローネ」の成果が評価され今回の展示に発展



ミラノサローネに展示した光合成で発電するスクリーンとテーブル

光合成建築は川上教授と松尾教授が専門分野を融合させて 2017 年から取り組む独創的な研究です。窓や壁、屋根などの部材が光バイオ燃料電池となることで、建築自体がエネルギーを生成し、かつ、樹木のように酸素を生み出し地球に還元するシステムです。植物が光合成できるように電池の構成物には透過性のある素材を使っており、緑色に彩られた美しい空間は自然環境や周囲の景観と調和します。公的な施設や企業と連携しながら研究を進めており、現在は社会実装に向けた検証段階に入っています。

大阪では、世界最大規模のデザインの祭典「ミラノデザインウィーク」をロールモデルにしたプロジェクト「OSAKA DESIGN WEEK 2026」が今年初めて開催され、目玉となるデザインイベントとしてマイドームおおさかで「OSAKA SALONE 2026」が開かれます。

光合成建築は今年 4 月、ミラノデザインウィークの中核となる国際家具見本市「ミラノサローネ」に招待されて公式出展し、サイエンスとデザインを横断する研究内容に大きな称賛が寄せられました。その成果が評価され、OSAKA SALONE 2026 の招待につながりました。今回は、光合成で生み出したエネルギーを活用して発電しつつ、心地よい緑の空間を創出するスクリーンやテーブルを展示予定です。これからの建築、エネルギー、そして循環型社会の可能性を発信します。

なお、川上教授は、「OSAKA DESIGN WEEK 2026」の運営や事業などに助言を行うアドバイザーボード（5 人）のメンバーにも就任しています。

【OSAKA SALONE 2026】

1. 開催日時：2026 年 9 月 25 日（金）・26 日（土）10：00～17：00
2. 場 所：マイドームおおさか（大阪府中央区本町橋 2-5）

3. そ の 他：光合成建築 HP のリンク

<https://www.psarchit.com/>

住環境デザイン学科Instagramのリンク

<https://www.instagram.com/livingandenvironmentaldesign/>

生命科学科Instagramのリンク

https://www.instagram.com/setsudai_seimei/

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 理工学部住環境デザイン学科 教授 川上比奈子 TEL:072-839-8070

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報企画課（担当：石村、長谷川）

TEL:06-6954-4026 Koho@josho.ac.jp